



社協イメージ
キャラクター
の幸子です！

社協ガイドブック

(令和4年度事業報告ダイジェスト)

令和5年5月22日作成版

社会福祉法人都市社会福祉協議会

Contents

- ① 令和4年度社協事業ダイジェスト
- ② 総務・サテライト部門
- ③ 地域福祉部門
- ④ 生活支援部門
- ⑤ 在宅福祉部門
- ⑥ 点字図書館
- ⑦ 子育て応援部門
- ⑧ 法人概要
- ⑨ 研修等
- ⑩ 社協の経営状況

幸子とは・・・

「幸子」は、都城市の福祉のために一生けんめい働くため、活動しやすいようにたすきがけをしています。髪かざりの桜は都城のマーク、丸十字は都城島津の家紋、袴の緑は都城のお茶や山々、ひもの青は人々を広く受け入れる気持ちや空、黄色のハートは温かな心を表現しています。名前の「幸子」は“幸せを届けるこども”からきています

①令和4年度 社協事業ダイジェスト

ボラフェス、3年ぶり！



令和5年2月5日(日)集合型で開催！
学生企画を中心に693名の参加を得た

トレジャーカードネットワーク



総数706の社会資源(トレジャー=お宝)発掘

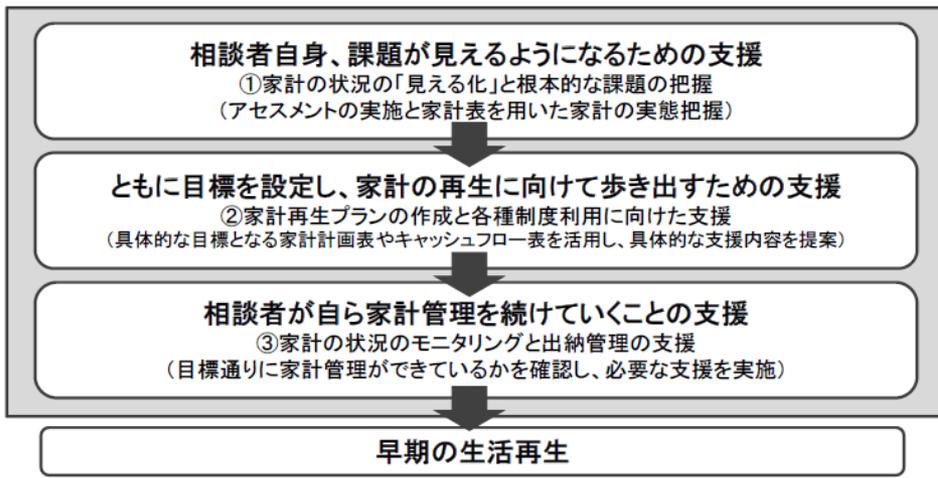
地域貢献検討委員会



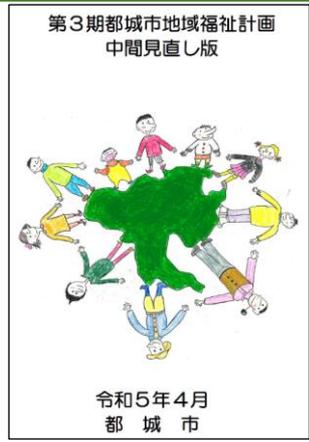
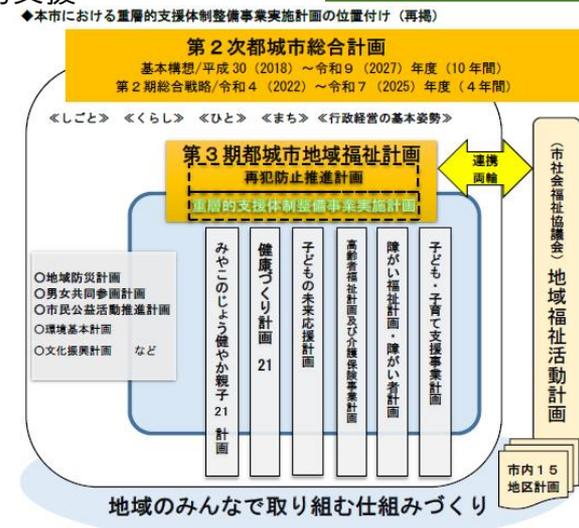
地域と社会福祉施設の協力体制構築と地域
貢献活動の啓発を目的に検討委員会立ち上げ

特例貸付後の支援

延べ3,414件の貸付対応と
家計改善支援による伴走的支援



重層的支援体制構築



①令和4年度 社協事業ダイジェスト

山之口通所介護事業



令和5年3月31日で事業廃止した
山之口通所介護事業所

コロナ禍でのサービス提供



コロナ禍でのサービス提供は、夏場でも
防護服着用で細心の注意を払って…

読書バリアフリーの促進



社会参加の促進



視覚ハンディキャップサービス研修会の開催

①令和4年度 社協事業ダイジェスト

谷頭こども園改築工事



保護者会、自治公民館長、民生委員を招き、令和4年10月13日「起工式」挙行

おおむた バス通園



都城市総合社会福祉センターから、おおむたこども園まで、バス通園開始！

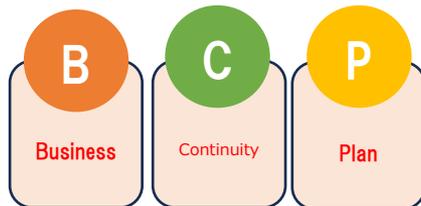
SNS活用強化



インスタグラムによる情報発信

職員プロジェクトで策定

事業継続計画



災害などの緊急事態が発生した際に、継続的な事業を推進するための「事業継続計画」を策定

デジタル化の推進



勤怠管理システム導入でデジタル化

古民家「ヒサヨさんち」



山田サテライトにおける。古民家を活用した「ヒサヨさんち」オープン！

② 総務・サテライト部門

人事考課制度の導入

職員が実践目標を掲げ、期初・期中・期末に上司と面談を行い、業務の進行管理と達成にかかる評価を行い、職員もモチベーションを高めた

広報事業①

『ごー！ごー!!ちいき』 毎月15日
年12回発行(発行部数48,500部)
WEB版をホームページに掲載

災害協定

- ・三股町社会福祉協議会災害時相互応援協定(平成24年3月11日)
- ・曾於市社会福祉協議会災害時相互応援協定(令和3年5月18日締結)
- ・都城市災害救援ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定(令和4年2月21日締結)

善意銀行

- 善意寄付 91件(3,009,478円)
 - ・お米18件767kg
 - ・食料品、日用品、雑貨
- 忌明寄付 300件
(9,750,000円)

ハラスメント対策

令和4年4月1日から事業主にも義務化された「パワーハラスメント防止措置」に基づき、職場におけるハラスメントの防止対策を講じた

広報事業②

イメージキャラクター「幸子」による啓発活動
・社協主催イベントへの出演
・各種資材へのイラスト掲載

社会福祉功労者等の表彰

- ・全国社会福祉協議会表彰 3名
- ・宮崎県知事表彰 2名・4団体
- ・宮崎県社協会長表彰 8名・3団体
- ・宮崎県共同募金会会長表彰・感謝 5団体

善意銀行活用事業

- 紙おむつの支給
 - ・6,407パック提供
- 車いすの貸し出し
延 105台貸出

社協会員会費

・881,000円



広報事業③

SNS等による情報提供・更新
・ホームページの更新(年間178回)
・Facebook(年間47回)
・LINE配信(年間20回)

- ・都城市長表彰 8名5団体
- ・都城市社協会長表彰 12名3団体
- ・共同募金会長表彰 3団体
- ・みやざき社会貢献活動表彰 2団体

資金運用

法人の保有する資産を活用し、債権等による運用益を得るもの
○収益 6,450,095円
○活用事業

- ・人材育成(研修、人事交流等)
- ・福祉厚生、職場環境整備

②総務・サテライト部門

山之口サテライト

〒889-1802都城市山之口町花木2667-2

☎57-4577

- 善意寄付 630,000円
- 共同募金 516,406円
- 歳末たすけあい募金 394,338円
- 生活福祉資金 7件
- 生活おたすけサービス 利用者2名
- 日常生活自立支援事業 利用者3名



高城サテライト

〒889-4505都城市高城町穂満坊303-2

☎58-3279

- 善意寄付 1,370,166円
- 共同募金 1,623,986円
- 歳末たすけあい募金 351,764円
- 生活福祉資金 10件
- 生活おたすけサービス 利用者3名
- 日常生活自立支援事業 利用者4名



山田サテライト

〒889-4601都城市山田町山田4319-2

☎64-2200

- 善意寄付 807,387円
- 共同募金 687,854円
- 歳末たすけあい募金 236,900円
- 生活福祉資金 2件
- 生活おたすけサービス 利用者2名
- 日常生活自立支援事業 利用者0名



高崎サテライト

〒889-4505都城市高崎町大牟田1150-1

☎62-3422

- 善意寄付 1,450,034円
- 共同募金 1,139,353円
- 歳末たすけあい募金 811,780円
- 生活福祉資金 22件
- 生活おたすけサービス 利用者13名
- 日常生活自立支援事業 利用者6名



②総務・サテライト部門

都城市総合社会福祉センター

〒885-0077 都城市松元町4街区17号

☎25-2123

- 研修室Ⅰ(定員54名)
- 研修室Ⅱ(定員45名) 526件8,044名
- 和室(56畳定員81名) 303件2,596名
- 大集会室(128畳定員198名) 96件1,134名

高城老人福祉館(指定管理)

〒889-4505 都城市高城町穂満坊303-2

☎58-3279

- 会議室(定員30名) 339名
- 大集会室(定員42名) 335名
- 和室(定員8名) 0名
- 相談室 7名 ○調理室 0名

高崎介護予防ふれあい交流センター

(指定管理)

〒889-4505 都城市高崎町大牟田1326-21

☎62-1548

- さわやかサロン 608名 ○いきいきサロン 385名
- 会議等 222名

山之口シルバーヤングふれあいの里

(指定管理)

〒889-1802 都城市山之口町花木2667-2

☎57-4577

- 会議室(定員34名) 1,468名
- ふれあいホール(定員16名) 972名
- 多目的ホール(定員140名) 1,962名
- デイサービスひばり苑 1,062名
- 地域包括支援センター 561名

山田総合福祉センター(指定管理)

〒889-4601 都城市山田町山田4319-2

☎64-2200

- 大会議室(定員60名) 62件1,763名
- 中会議室(定員18名) 47件354名
- 小会議室(定員8名) 5件24名
- 調理実習室 66件241名
- ボランティア活動室 1619件3,239名

福祉バス運行(2台)

- 事務局(定員28名) 38日稼働 420名
- 山田(定員28名) 24日稼働 245名

③地域福祉部門

第4次都城市地域福祉活動計画

●全体スローガン 「こだわらないに こだわって 『いいが いいが』の みやこんじょ 未来につながる 地域の輪」

●第3期行政計画アクションプラン・スローガン

「手をつなぎ 笑顔あふれる ひとづくり」

「心をつなぎ 笑顔かがやく まちづくり」

「想いをつなぎ 笑顔ひろがる しくみづくり」

●計画期間 令和3年度～7年度

●計画の体系 ①第3期都城市地域福祉計画アクションプラン

②15地区地域福祉活動計画

③都城市社協経営基盤強化計画

●各地区スローガン

○姫 城／地域の宝に磨きをかけて！ みんなでつくるひめぎの輪

○妻ヶ丘／やってみよう！ 育てよう！ 集いつながる つまがおか

○小松原／笑顔であいさつ！ 夢づくり サンシャイン小松原

○祝 吉／みんなちがってみんないい～夢・希望あふれる「あやめのまち祝吉」～

○五十市／あんしんで ゆめひろがる みんなのふくし

○横 市／横一線ですすめる顔のみえる地域づくり

○沖 水／相手の気持ちを一番に 協力し 笑顔ひろがる 沖水地区

○志和池／笑顔あふれ広がる、志和池の話！和！輪！～志の和すること この池のごとくあれ～

○庄 内／心もまちもあたたかい ずーっと住みたいまち庄内 ～やさしい心 感謝の心 思いやりの心～

○西 岳／わいわい たのしく げんきよく 西岳

○中 郷／サさえ合う心で シあわせの絆を育む なかんごうひろバ

○山之口／すべての住民が、いつまでも住み慣れた地域で 豊かに生きがいを持って生活するために

○高 城／ふるさとを愛し、誇りを持ち、新しい時代を拓く 高城人を育む！

○山 田／安らぎとふれあいのなかで、ともに支え合い だれもが役割を担える福祉のまちづくり

○高 崎／星も町もキラキラ “ありがとう”があふれる安心・安全のまちづくり



③地域福祉部門

地域福祉総合推進事業

15地区社会福祉協議会の活動支援
都城市地区社会福祉協議会連絡協議会の運営

- 地区社協運営支援
- 地区社協活動支援
- 市連協通信『さちこだより』 vol. 12～18号発行
- インフォーマル資源開発
- 生活援助員全体研修
- 生活支援コーディネーター情報交換会
- スマホ・パソコン講座
- 地区担当者定例会



アウトリーチ、参加支援事業

属性を問わない相談支援、多様な社会参加に向けた支援、地域づくりを一体的に実施し包括的な支援体制構築

- 地域づくり推進員の配置 2名
- アウトリーチによる継続的支援(福祉なんでも相談等)
- 参加支援事業
「トレジャー・カード・ネットワーク」社会資源の把握
- 地域づくり事業
自治公民館単位での住民福祉座談会、福祉学習会

生活おたすけサービス

在宅高齢者に対し、日常生活上の軽易な援助を行う生活援助員を派遣する事業

- 事業対象者:要支援者、生活機能低下の方
- 利用料:1時間200円(1日2時間、10時間まで)
- 利用者数:延452名(新規13件)
- 生活援助員登録者数:158名(5.3.31現在)
- 派遣回数:1987回(延派遣時間2286時間)

介護保険生活支援体制整備事業

- 第1層協議体の運営(委員12名)
- 第2層SCの配置(15地区25名)
- 活動日数:1,067日、活動時間:1,572時間
- 『お宝ブック VOL. 3』の発行

子どもの生活・学習支援事業

ひとり親世帯、生活保護受給世帯、生活困窮世帯の子どもに対して、生活支援と学習支援を一貫して行う

- 事業実施団体への活動費助成 16団体
- 学習支援サポーター養成講座、フォローアップ研修
- 都城こども未来応援連絡協議会の開催(年2回)
- 要保護児童対策地域協議会への参加(年3回)

③地域福祉部門

ボランティアセンター

ボランティアに関する理解と関心を高め、ボランティア活動の育成支援を行い、地域福祉の推進を図ります

- 都城市ボランティアセンター運営委員会
(オンライン2回)
- 災害支援リーダー育成事業、災害支援プロジェクト
- ボランティア活動の需給調整
- みやこんじょボランティアネットワーク(30団体)
- 台風14号被害に伴うボランティア活動:31件
- ボランティア養成講座「シン・たすけの達人講座」

ボランティアフェスティバル

地域共生社会の実現に向けて、自らが主体的に参加するため、多様なボランティア・市民活動を知り、共に考え、体験し、実践することを目的として開催

- 「みやこんじょボランティアフェスティバル2023
ちよつこと、ボラフェス。～見つけよう未来スイッチボランティア」
 - ①学生・団体「かがやけ！ 未来ラボ」
 - ②わくわく体験「ちよつことおいでよ！」
 - ③ちよつことステージ「板の上に集まれ！」
 - ④動画配信「聞いてよ！ わたしの未来スイッチ」
 - ⑤「みやこんじょ・ボランティアスピリッツ賞」の創設
 - ⑥「福祉の心 短歌大会」

福祉教育

学校と地域における福祉教育の推進を図るため、小中学校の各発達段階に応じた連続性のあるプログラム開発を行います

- 都城市社会福祉普及推進校連絡会総会・役員会
- 各学校への福祉教育の取り組み
- 福祉教育実践報告会
- 高校生とのオンラインミーティング
- コロナ禍で工夫を凝らした福祉教育の推進

ファミリー・サポート・センター

育児などの援助を受けたい方(利用会員)と、援助を行いたい方(援助会員)からなる会員組織で、相互援助活動を実施します

- 利用会員954名、援助会員193名
両方会員69(令和5年3月31日現在)
- 援助回数6868回、援助時間5302時間15分
- 援助会員養成講座 全6回24時間(6月・1月)
- 情報紙『リンク・リング』の発行／12月・3月

④生活支援部門

日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方に、福祉サービス利用の援助や、日常的な金銭管理、書類の預かりを行います

- 契約締結者数 68名(新規9件、解約14件)
 - ・認知症高齢者2名 ・知的障がい49名
 - ・精神障がい者17名 ・うち生活保護17名
- 生活支援員 登録36名(新規7名)
- 支援回数 延1321回
- 生活支援員養成講座 9回開催

福祉後見活動事業

事理弁識能力が十分でない方に対し、権利擁護を図るために必要な法人後見等を行います

- 法人後見受任 11件(後見8件・保佐3件)
- 委任事務契約 1件
- 都城みらいあんしん支援事業契約者 0件
- 法人後見審査委員会 2回開催(書面)

多機関協働包括的支援体制構築事業

複合的な課題を抱える方に対して、単独の相談機関では対応できない課題を、多機関での解決を図ります

- 相談支援包括化推進員の配置 2名
- 電話等による総合相談 673件
- 弁護士による専門相談 74件
 - ・定例型重層的支援会議 1件
 - ・ケース型重層的支援会議 1件
 - ・支援会議 19件
- 『第3期都城市地域福祉計画 中間見直し版』に実施計画計上

生活自立相談センター

多様で複合的な課題を抱える生活困窮者に対し、包括的・継続的な相談支援を行い、経済的・社会的自立を支援します

- 自立相談支援事業 2508件
- 住居確保給付金 62件
- 新型コロナウイルス特例貸付(令和4年9月末まで)
- フードバンク事業
- 家計改善支援事業 173件、プラン作成6件
 - ・家計管理支援 159件 ・債務整理支援 40件
 - ・滞納整理支援 17件 ・公的制度斡旋 18件

④生活支援部門

障がい者(児) 基幹相談支援センター

身体障がい、知的障がい、精神障がい等の相談支援事業等の、総合的・基幹的な支援センターです

- 総合的・専門的相談支援 11,609件
- 主催研修、相談支援事業所の後方支援
- 地域移行・地域定着の取り組み
- 医療的ケア児等Co修了者研修
- 障害者自立支援協議会
 - ・就労支援部会 ・相談支援部会
 - ・地域生活支援部会 ・児童部会
 - ・重症心身障害児(者)支援部会

障害者虐待防止センター

障害者本人や養護者、周囲の人からの障害者虐待に関する疑問や悩みなど、様々な相談を受け付けます
また、家庭や職場、障害者福祉施設などの様々な場で、障害者虐待を発見した人からの通報や、虐待を受けている障害者本人からの届出を電話や窓口などで受け付けます

- 虐待防止案件対応
- コアメンバー会議・支援会議
- 事業所向け虐待防止研修の開催

山之口・高城 地域包括支援センター

高齢者が住みなれた地域で出来るだけ継続して生活していけるよう、介護、医療等の多様な相談に対応します

- 介護予防マネジメント 1452件
- 総合相談支援 4562件
- 権利擁護業務(虐待相談対応) 21件
- 包括的・継続的マネジメント業務
- 介護予防支援業務 2379件
- 地区介護支援専門員連絡会議
- 自立支援型地域ケア会議
- こけない体づくり講座(新規2か所)

山田・高崎 地域包括支援センター

高齢者が住みなれた地域で出来るだけ継続して生活していけるよう、介護、医療等の多様な相談に対応します

- こけない体づくり講座(山田24か所・高崎27か所)
- 総合相談支援 2127件
- 権利擁護(虐待相談対応) 4件
- 包括的・継続的マネジメント業務
- 介護予防支援業務 2481件
- 地区介護支援専門員連絡会議
- 自立支援型地域ケア会議
- 「地域の保健室」新規開設

⑤在宅福祉部門

障害福祉サービス

障害者総合支援法に基づき、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の利用者宅にホームヘルパーを派遣し、生活全般にわたる援助を行います

- 居宅介護 年438件・延5920件訪問
- 重度訪問介護 年12件・延391件訪問
- 訪問入浴サービス 年46人・延369回訪問

居宅介護支援(ケアプラン)

介護保険法に基づき、利用者の心身の状況、置かれている環境等を把握したうえで、居宅介護サービス等を総合的・効率的に提供されるように計画を作成します

- ケアマネジャーの配置 9名
- ケアプラン作成 延2409件
- 介護予防プラン作成 延546件
- 介護認定調査 18件

食の自立支援(配食サービス)

在宅で調理が困難なひとり暮らし高齢者や老夫婦に対して、栄養バランスのとれた食事を届けるとともに、安否確認を行います

- 配食実績 延1489食

訪問介護・訪問入浴介護(ヘルパー)

介護保険法に基づき、常に介護を必要とする「要介護」の認定を受けた人や介護予防・日常生活支援総合事業の対象者に、身体介護・生活援助等を実施します

- 訪問介護 年998人・延12598回訪問
- 総合事業 年679人・延5149回訪問
- 訪問入浴 年96人・延486回訪問

通所介護

要介護者等に対して、健康チェック、個別機能訓練、生活機能訓練、創作的活動、レクリエーション、介護・入浴・食事等のサービスを提供します

- 志和池(通所) 年257日 延4371名利用
(総合事業) 年257日 延1390名利用
- 山之口(通所) 年 56日 延 801名利用
(総合事業) 年 56日 延 189名利用
- 山田(通所) 年256日 延2808名利用
(総合事業) 年256日 延1541名利用

元気アップデイサービス

- 志和池 年257日 延185名利用
- 山之口 年 56日 延 72名利用
- 山田 年256日 延397名利用

⑥点字図書館部門

点字図書館の目的

点字図書、録音図書等の 収蔵、貸出し、製作等を行っている視覚に障がいのある方のための専門図書館です「見えない人」(重度視覚障がい者)から、「見えにくい人」(ロービジョン:弱視者)まで、様々な方にご利用いただいております。

- 点字図書館運営委員会の開催

点字・音声情報の提供

- 点字データ図書、点字図書の利用数 3379タイトル
- 音声データ図書、テープ図書の利用数 28309タイトル
- テキストデージー図書の製作及び利用数 95タイトル
- 定期刊行物(点字版・点字データ版等)利用数 10タイトル・延587名
- 定期刊行物(デージー版・テープ版等)利用数 29タイトル・延1751名

ボランティアの養成

- 点訳ボランティア養成講座 22回・6名受講
- 音訳ボランティア養成講座 24回・6名受講

社会参加への支援

- ぶらいゆサロン(当事者交流の場) 11回・延112名
- 情報機器(パソコン等)の操作指導
- 視覚障害者団体行事への協力
- 都城市立図書館との連携によるサービス啓発・充実
『指で読む楽しみ! 音で読む喜び! 視覚障がい者のための読書バリアフリー展』
- 宮崎県立明星視覚支援学校との連携
『サテライト教育相談』
- 視覚ハンディキャップサービス研修会



⑦子育て応援部門

おおむたこども園(認定こども園)

平成26年に建て替えた新しい園舎・園庭には、こどもたちが遊びに飽きないよう工夫が凝らされています。ひときわ目立つツリーハウスを中心に、木登り自由の木々や、思わず掘ってみたくなる砂場など、毎日が冒険のようなスリルを味わえる遊具と仕掛けが満載です

○利用定員

1号15名、2号23名、3号37名

に対し、73名の登録

○「ぽかぽかひなた」参加者 延45名

縄瀬保育園(保育所)

田んぼと畑に囲まれた小さな保育園です。広い園庭には砂場や遊具がゆったりと配置されていて、給食に使う野菜を栽培する畑もあります。飼育しているたくさんの小動物たちと一緒に生活することで、生き物のいのちと毎日向き合っています。

○利用定員 2号18名、3号12名に対し、27名の登録

○地域の方々による園庭整備の協力
野菜や薪の寄付など



谷頭こども園(認定こども園)

園庭からは、毎日違った表情の霧島山が一望できます。トンネルが2つもある大きな築山では、こどもたちが体全体を使って遊んでいます。広いスペースを活かしてドッチボールをしたり、コマやけん玉など昔ながらの玩具も充実しています。

○利用定員

1号15名、2号48名、3号42名

に対し、登録93名

○谷頭こども園建て替え開始
(令和4年10月13日起工式)



谷頭児童館(指定管理事業)

- 育児相談
- 季節に応じた行事
- 地域子育て支援事業
- 避難訓練、防犯訓練
- 利用者数 1768名

谷頭児童館放課後児童クラブ

- 登録児童の放課後居場所の提供
- 季節に応じた行事
- 遊びの見守りと提供
- 学習の見守り

⑧法人概要

名 称	社会福祉法人都城市社会福祉協議会
設立年月日	平成18年 1月 5日
法人認可	平成17年 9月29日
所在地	〒885-0077 宮崎県都城市松元町4街区17号
役員	【理事】定数6名以上12名以内 (うち会長1名、副会長2名、常務理事1名) 【監事】定数2名以上3名以内 【評議員】定数7名以上24名
事務局組織	【事務局】 社会福祉法人都城市社会福祉協議会 ・事務局長 ・総務課 ・サテライト統括室(山之口サテライト・高城サテライト・山田サテライト・高崎サテライト) ・地域福祉課 ・生活支援課 ・在宅福祉課 ・点字図書館 ・子育て応援課

⑨研修等

研修委員会

職員の能率的な職務の遂行を図るために研修等を行うため、「職員研修規程」を定めるとともに、研修委員会を組織し、職員研修の企画及び実施にあたっている

- 研修委員会 年12回開催
- 研修担当 総務課法人係長
- 研修委員長 地域福祉課地域福祉係長

職員研修

- ①重層的支援体制整備事業研修 7月21日 131名
- ②コンプライアンス(法令順守)研修 9月15日 135名
- ③交通安全・事故対応研修 9月14日～10月13日
- ④こどもまんなか社会を考える研修 1月12日 126名
- ⑤ハラスメント防止研修 2月13日～3月31日

階層別研修

- ①新入職員研修(業務) 4月22日 11名
- ②新入職員研修(マナー) 5月13日 9名
- ③新入職員研修(振り返り) 12月12日 9名
- ④主事・主査研修(プレゼン) 10月13日 61名
- ⑤副課長・係長研修 4月14日17名、1月25日17名
- ⑥副課長・係長研修(他部署連携) 11月25日16名
- ⑦課長研修(BCP) 6月21日 29名

特別研修

「みやこんじょ社協未来塾」

社会福祉協議会や地域福祉の歴史を顧みる研修

- 講師:高野眞氏、西いく子氏、佐々木鴻昭氏、
上新憲一氏、川内菜津美氏、小岩屋芳郎氏
- 回数:全11回 延155名参加

その他の研修

- ①他部署業務体験研修
・期間 令和4年10月～令和5年3月の間で1日間
・対象者 希望する職員
・体験職員 19名
- ②派遣職員による帰庁報告会
- ③都城市との社会福祉士意見交換会 8月30日
- ④消費契約トラブル防止に関する研修 1月26日
- ⑤都城市文化振興財団との懇話会 2月17日
- ⑥人事交流派遣職員実践報告会 3月7日

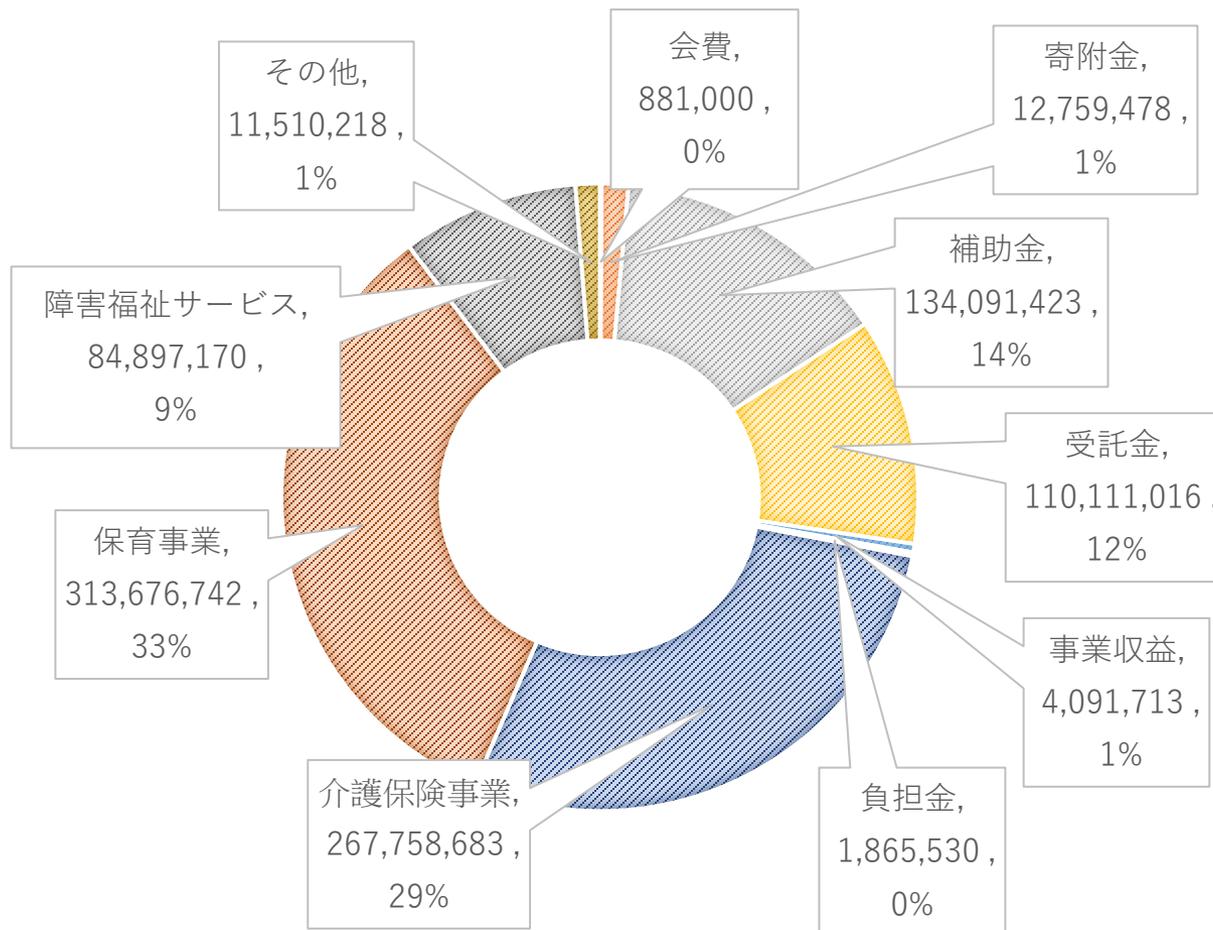
任意研修

- ①事例検討会(年8回開催)
・うち2回は氷見市社協との交流による研修
- ②宮崎県社会福祉研修センター各種研修の受講
- ③宮崎県社会福祉経営支援セミナー各種研修の受講

⑩社協の経営状況

社協の財源構成

収入の内訳（令和4年度）



会費	881,000
寄附金	12,759,478
補助金	134,091,423
受託金	110,111,016
事業収益	4,091,713
負担金	1,865,530
介護保険事業	267,758,683
保育事業	313,676,742
障害福祉サービス	84,897,170
その他	11,510,218
合計	941,642,973

⑩社協の経営状況

令和4年度決算（収入）

科目	令和4年度	令和3年度	比較増減	結果
会費	881,000	762,500	118,500	😞
寄附金	12,759,478	11,538,423	1,221,055	😊
補助金	134,091,423	134,147,085	▲55,662	😐
受託金	110,111,016	101,034,452	9,076,564	😊
介護保険	267,758,683	295,184,188	▲27,425,505	😱
保育事業	313,676,742	326,095,815	▲12,419,073	😞
障害福祉サービス	84,897,170	92,337,743	▲7,440,573	😞

令和4年度決算の総括

■収益事業の収支

- ・収益3事業(障害福祉サービス・介護・保育部門)
すべて**対、前年度比 収入・支出ともに減少**
- ・ただし、収支差額はすべて**黒字**(総計**42,301,893円**)
- ・介護事業は2事業(通所、食の自立支援)の**廃止**

■資金運用益

- ・保有益**6,420,000円**、売却益**30,095円**(令和4年度)

■法人運営上の経営課題

- ・職員人件費自己負担分(3割)の行政補助のあり方検討
- ・人材確保×人材育成×人員コストのバランス
- ・新たな資金確保策の検討



社協ガイドブック(令和4年度事業報告ダイジェスト)
社会福祉法人都市社会福祉協議会